

大矢知地区まちづくり構想(素案)

平成22年4月

子どもたちの世代に大矢知の素晴らしい「環境」を残そう！

大矢知地区まちづくり構想策定委員会
大矢知地区まちづくり構想策定部会

はじめに

昨年の中間報告では、大矢知地区の様々な自然、歴史文化、施設等の資源や問題点を探訪して、皆様にマップとして紹介しました。

それからの1年間は、これらの情報を整理し、今後のまちづくりに活かすために、いくつかのプロジェクト（企画）を策定し、これらを二回目の中間報告の機会に「まちづくり構想（素案）」として皆様にお披露目する運びとなりました。

作業の過程では、この地区の将来像を思い描くに当たり、様々な希望と問題点が浮き彫りにされてきましたが、我々が策定したプロジェクトを推進していく中で、地域住民が仲良く協力して自らの地区を形作っていくことを願っております。

もちろん、これらのプロジェクトは素人による計画ですので、至らない点が多々あると存じますし、「まちづくり構想（素案）」に対して、これまで皆様からのお声を反映する機会を持ってませんでしたので、ご意見をお寄せ頂ければ幸いです。

●まちづくり構想とは？

「まちづくり構想」は、暮らしやすいまちをつくっていくために、地区に住む住民が自ら取り組んでいくことを話し合い、その方針をまとめたものです。そして、地区住民の合意を得たのち市に提案され、市は提案されたまちづくり構想をもとに、市が今後進めるべき施策・事業を都市計画マスタープラン地域・地区別構想としてまとめます。

これらの手続きは「四日市市都市計画まちづくり条例」に位置づけられており、地区住民と市は、都市計画マスタープラン地域・地区別構想にそって、協働でまちづくりに取り組んでいくことになります。

大矢知地区まちづくり構想 目次

はじめに	1
I. 地区の現状	3
1) 都市化の進行	3
2) 先輩たちが残し、伝えてくれた多くの資産、知恵	4
3) うるおいとふれあいの場	4
II. まちづくりの方針	5
1. まちづくりの目標	5
2. まちづくり構想の体系とプロジェクト	6
III. まちづくりプロジェクトの展開	8
1. 身近な交流の場づくりプロジェクト	8
2. 小学校&中学校整備プロジェクト	10
3. 朝明川自然学習公園化プロジェクト	15
4. 環境まちづくりプロジェクト	18
5. 里山保全プロジェクト	19
6. 歴史・文化の継承プロジェクト	22
大矢知地区まちづくり構想図	25~26
IV. 参考	27
1. まちづくりの資源の一覧	27
大矢知地区まちづくりの資源・課題地図	37~38
2. まちづくり構想の策定体制と経過	39

I. 地区の現状

大矢知地区の現状についてまとめました。

1) 都市化の進行

私たちの地区では、都市化や人口増加に伴って、さまざまな問題が生じています。

① 急激な都市化の進行に対応できていない

- ・ミニ開発や交通量の増加で、道路や排水の整備がされないまま宅地化が進んだり、虫食い状に農地が減少したり、交通環境が著しく悪化したりしています。
- ・北勢バイパス等の広域的な道路整備が進んでいますが、それに対して地区内の道路網が十分には対応できていません。

② 人口増加や高齢化の進展に対応できていない

- ・生徒数の増加により、学校施設などに問題が生じてきています。
- ・外国人や新しい住民が増え、コミュニティのあり方が変化してきています。
- ・高齢化が徐々に進み、ひとり暮らしの高齢者も増えてきています。

③ 環境問題が山積している

- ・産業廃棄物処分場跡地の問題やゴミの不法投棄の増加、計画されている新清掃工場建設に関する事など、「環境保全」にかかわる重要な課題が山積しています。



危険箇所がたくさんある狭隘な道路や通学路



施設が狭い大矢知興譲小学校



整備検討中の北部清掃工場



ミニ開発が進む農地



活用が限定される産廃処分場跡地

2) 先輩たちが残し、伝えてくれた多くの資産、知恵

私たちの地区には、先輩たちから引き継がれた多くの資産や暮らしの知恵が育まれています。

① 残したい貴重な里山

・地区には、市街地のなかの貴重なまとまりある緑としての里山がまだまだ残っています。

② あまり知られていない極めて豊富な歴史文化資源

・地区は、遺跡の宝庫であり、元三大師や久留倍遺跡など歴史的価値の高い文化財をはじめ、おどろくほど豊富な歴史文化遺産が集積しています。

③ 全国でも高く評価される地場産業

・大矢知手延べ麺や酒造りなど、全国的にも高く評価されている地場産業が根づいています。



市街地に残る貴重な里山



国の重要文化財がある元三大師



酒造りや手延べ麺などの地場産業

3) うるおいとふれあいの場

私たちの地区には、うるおいを与えみんながふれあえる大切な場所があります。

① 朝明川をはじめとする水環境

・朝明川や米洗川、用水・水路など、地区には素晴らしい水環境がありながら、レクリエーションの場としての活用や環境整備などがあまり行われていません。
・また河川・水路の水質の悪化や排水が悪い箇所、水の事故が心配される箇所があるなど、水環境にも問題が生じています。

② あさけプラザなどの世代を超えたふれあいの場

・「あさけプラザ」は、子どもから高齢者まで、あらゆる世代が集える貴重な施設であり、多くの住民が利用していますが、建物が老朽化してきています。

③ オープンスペースの維持管理と確保

・既存の公園やグラウンドなどの大切な交流の場は、防災・防犯上の観点からも適切な維持管理が必要であるとともに、公園などが少ない地区では、北勢バイパスの高架下の公園化などにより、オープンスペースを確保することが求められます。



造り酒屋が沢山あった美しい水



環境整備が望まれる河川



ふれあいの拠点 あさけプラザ

Ⅱ. まちづくりの方針

地区のまちづくりとして、特に大切だと思っていることです。

1. まちづくりの目標

地区の現状で整理したように、私たちの地区には、様々な問題や次の世代に引き継ぎ、まちづくりに生かしていきたいことがたくさんありますが、それらは放っておくといっそう問題が深刻化したり、埋もれて忘れられてしまったり、使えなくなってしまうものばかりです。

まちづくり構想の策定作業を通じて、地区をくまなくまわり、みんなで話し合ってみて痛感したのは、こうした大切な資源や環境を守り生かしていくために、今、とても大切な時期を迎えているということでした。

そして、この素晴らしい環境を子どもたちの世代に引き継いでいくことが、今、私たちにとって最も重視すべき役割であると認識し、次のまちづくりの目標を設定します。

■まちづくりの目標■

『子どもたちの世代に大矢知の素晴らしい「環境」を残そう』

まちづくりの目標に向けて、次の3つの方針に基づき、まちづくりに取り組みます。

■3つの大きな方針■

- 1) 安心して暮らせる生活「環境」をみんなで育む
- 2) 自然「環境」を守り、積極的にまちづくりに生かす
- 3) 先人が守り伝えてきた文化的「環境」を、次の世代に引き継ぐ

2. まちづくり構想の体系とプロジェクト

これまで策定作業を通じて、私たちの地区にとって大切な課題は何かを話し合ってきました。そして、地区のまちづくりにおいて重視したい課題と、課題の解決に向けて、まず取り組むプロジェクトを次のように整理しました。

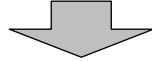
方針1：安心して暮らせる生活「環境」をみんなで育む

[まちづくりの方針]

[特に重視したいこと]

① 交流とふれあいの場をつくる

- ・世代間の交流やふれあいの場づくり
- ・高齢者や外国人が安心して暮らせる環境づくり

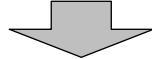


まちづくりプロジェクト①『身近な交流の場づくりプロジェクト』

○身近な地域で多世代の交流の場づくりに取り組みます。

② 安心安全な都市環境をつくる

- ・学校施設の充実、中学校の設立
- ・安全な道路環境の創造／通学路の安全対策



まちづくりプロジェクト②『小学校&中学校整備プロジェクト』

○小・中学校の整備をまちづくりに連動させていきます。

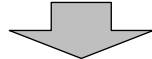
方針2：自然「環境」を守り、積極的にまちづくりに生かす

[まちづくりの方針]

[特に重視したいこと]

① 地区の水環境を見直す

- ・朝明川の水環境整備と公園化の推進
- ・米洗川、十四川の活用や水質改善
- ・河川・水路沿いへの散策コースの整備

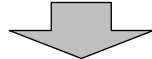


まちづくりプロジェクト③『朝明川自然学習公園化プロジェクト』

○朝明川の美しい環境を守って、みんなが遊べる川にします。

② 環境まちづくりにとrikumu

- ・徹底した環境対策と情報公開、環境学習等の推進
- ・新清掃工場建設に伴う施設整備や産廃跡地の活用
- ・ゴミの不法投棄対策
- ・雨水排水施設の充実、下水道の整備



まちづくりプロジェクト④『環境まちづくりプロジェクト』

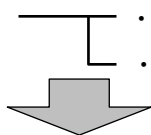
○重要な環境関連の事業に、地区としてしっかり対応していきます。

方針3：先人が守り伝えてきた文化的「環境」を、次の世代に引き継ぐ

[まちづくりの方針]

[特に重視したいこと]

① 里山や緑を守る

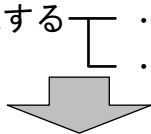


- ・里山の保全と公園化（観音山周辺や垂坂山山頂など）
- ・農地の維持（貯水・排水機能としても重要）

まちづくりプロジェクト⑤『里山保全プロジェクト』

○里山と緑の環境を積極的に守り、次の世代に引き継いでいきます。

② 歴史文化や地場産業を継承する



- ・地区の歴史文化や地場産業の学習やアピール
- ・元三大師や久留倍遺跡を核としたまちづくりの推進

まちづくりプロジェクト⑥『歴史・文化の継承プロジェクト』

○地域の歴史・文化を暮らしや活動のなかで継承していきます。

Ⅲ. まちづくりプロジェクトの展開

まちづくりを動かすために、まず取り組みたいことです。

1. 『身近な交流の場づくりプロジェクト』

私たちの地区では、人口の増加傾向が続いていて、外国人や新しい住民が増えており、地域のコミュニティのあり方が変化してきています。一方で、高齢化は徐々にですが着実に進み、ひとり暮らしの高齢者も増えてきています。こうしたなかで、あさけプラザや地区市民センター、スポーツ施設などが、住民の交流の場としての役割を果たしていますが、送迎の問題などもあり、必ずしもだれもが集まりやすい環境にあるわけではありません。

また、就学前の子どもを持つ親にとっては、同じ悩みを持つ同世代の人たちと交流する機会が少ないなど、多様な世代において、その関係づくりに様々な課題が存在します。

このような状況のなかで、今後、高齢者の介護や見守りを地域で担っていくことや、だれもが集まりやすい、より身近なところで多世代が交流できる場づくりがとても重要になってくるものと考えています。私たちは、そうした視点から地区における交流とふれあいの場づくりに取り組んでいきたいと思えます。

1) 交流の場づくりの目標

■活動目標

『身近な地域で多世代が交流し、互いに支え合える地区にしたい！』

① 小さな交流の場をつくろう

だれもが無理なく集まることができる身近で親密な交流の場（複合的な活動が混在することで多世代が出会い、交流できる柔らかい居場所）が、小さな地域ごとにあるような、そんな地区をめざします。

② それぞれの交流の場を支える仕組みをつくろう

小さな交流の場が様々な地域で生まれ、運営していけるように、活動を支える仕組みやそれぞれがネットワークし合える体制を地区でつくっていきます。

③ 地域で支え合うことの大切さを理解し合おう

交流の機会を通じて、地域で支え合うことの大切さや将来に向けて安心して暮らせることの重要性など、コミュニティに参加することのメリットを実感し合い、地区の自治にかかわる活動や組織への参加意識を高めていきます。

2) 私たちが取り組みたいこと

目標を実現するために、次の活動に取り組みます。

① 交流機会の創出と地域で支え合うことの大切さの啓発

里山づくりや朝明川における活動など、地区の様々な活動を通じて多様な世代が交流できる機会を創出していくとともに、身近な地域ごとに集まったり、相談しあったりできる機会を設けて、より身近な地域で交流し合える柔らかい関係づくりを進めていきます。

【取り組みのアイデア】

- ⇒ あまり使われていない公民館等を、喫茶店のような、井戸端会議のできるサロンのような場にして、毎日来ても良い、イゴゴチの良い場所をつくる
- ⇒ サロンの場には、絵や写真などの趣味の展示を行うなど、くつろぎの場にする

② 地区社協等と連携した交流の場を支える仕組みづくり

大矢知地区社会福祉協議会と連携して、身近な地域において、自分たちで交流の場や活動を起こし、運営していく人たちを応援できる仕組みを構築します。

【取り組みのアイデア】

- ⇒ 自分たちの楽しみ、生き甲斐のために活動するシニアボランティアを募り、そこから輪をひろげていく
- ⇒ ひとり暮らしのお年寄りの引きこもりを少なくするためにも、民生委員等の協力を得る

③ 空き家や公共施設の有効利用の促進

地区内にある空き家や十分に活用されていない公共施設などを、交流の場として積極的に活用し、身近な地域における交流の場づくりに取り組みやすい環境づくりを行います。

【取り組みのアイデア】

- ⇒ あまり使われていない公民館を積極的に活用し、稼働率を上げる



交流拠点の役割を果たすあさけプラザ



身近なところで交流の場の創出を



公民館や集会所の有効利用を

2. 『小学校&中学校整備プロジェクト』

小学校、中学校の問題は、地区として（優先順位の高い）重要な課題であり、大矢知地区の土地利用やまちづくり構想について検討していくなかで、課題事項として整理していく必要があります。

このようなことから、まちづくり構想の策定においては、小学校及び中学校の整備についてまちづくりの視点から検討し、以下に候補地（案）とまちづくりにおける課題を提案、整理しました。

1) 整備の必要性について

① 大矢知地区には中学校がない

- ・ 地域の義務教育の中核となる中学校が地区内にないのは、まちづくりの観点から問題である。
- ・ 一部地域からは、中学校が遠く、不便である。
- ・ 小学校と中学とが400mトラックを共用できれば、様々なスポーツに有用である。

② 児童・生徒数の増加に対応できていない

- ・ 小学校に通う900名弱の児童数に対して、学校面積が狭いためパンク状態である。
- ・ 児童数が急増してきた結果、学校施設（特に運動場）の利用に問題が生じている。
- ・ 校庭は禽舎を廃棄しなければならない程、手狭である。
- ・ 現在の校庭では野球とサッカーを同時にプレイできない。
- ・ 体育の授業に限らず、ホームルーム以外の理科室、音楽室等の専用教室も児童数に対応しきれていない。
- ・ 朝明中学校も同様に生徒数の増加に対応できていない。
- ・ 小中一貫校として新設すべきである。

③ 近隣との関係に問題が生じている

- ・ 体育館とプールが敷地外に有るため、民家と隣接しており、騒音等の苦情がある。
- ・ プールは6月上旬から毎時間4ないし5クラスが同時使用しているが、人数が多すぎて指導に支障がある。
- ・ 自動車通勤の教職員の増加により駐車場が不足している。
- ・ 保護者が駐車するスペースがない。



大矢知地区内には中学校がない



非常に狭い大矢知興譲小学校



近隣との関係に問題が生じている

2) 候補地（案）の提案とその理由

候補地に関する提案：

小学校と中学校を小中一貫校として整備する

候補地案－１：大矢知興讓小学校及び観音山付近

① 候補地としては、小学校は現在地周辺を活用

- ・ 興讓小学校の所在地自体が史跡なので、完全に移転するのは名前の由来からして望ましくない。(拡張がよい)
- ・ 現在の小学校区の中心部には、学校用地に足る新たな候補地がない。
- ・ 里山を開発する事は残念だが小学校の隣接地に 3000 坪の区有地が有り、その周りの土地は調整区域なので、まとまった土地を確保し易い。(地権者の方のご理解が必要)
- ・ 他の候補地としては久留倍遺跡近辺が挙げられていたが、松寺方面からは遠くなるのと、通学路を新たに確保することが難しい。

② 候補地案－１の場合の利点

- ・ 周辺が里山なので、豊かな自然環境に囲まれて学校用地としては望ましい。
- ・ 通学路は現在と基本的に変わらない。
- ・ 校舎を移さずに済むので過去の耐震補強工事等の支出が無駄にならない。
- ・ 観音寺の移転も考慮しなければならないが、現在補強工事がなされていない寺の北側法面の補強工事を行うことができる。
- ・ 公共交通機関の利便性を考えると、大矢知駅が近くて便利である。
- ・ 山林の開発に関して、迷惑をかける民家が比較的少ない。
- ・ 里山に隣接しているので、将来、用地を拡げたり、付属施設の増築余地として可能性を残しておいたりすることができる。

※ なお、観音山側に集中させる案についても検討すべきと考えます。

- ・ 里山側に小中学校の学校施設を集中させ、現小学校は、学童教育や幼稚園・保育園等、関連する別用途の利用を検討し、地区における拠点性や利便性を高める。

候補地案－２：下之宮の水田を開発する案

① 候補地案－２の場合の利点

- ・ 地区のまん中(中心)により近いこと。
- ・ 平坦地であり、開発がしやすいこと。
- ・ 開発可能性のある水田を活用することで低層アパート等の建築に歯止めがかかること。
- ・ めざす小中一貫校を新設で建設が可能であること。

3)「候補地（案）」への整備において、留意すべき問題点、課題

候補地（案）を提案するにあたり、まちづくりの視点から、以下の解決すべき問題点・課題を整理しました。候補地（案）における小学校及び中学校の整備を検討するにあたっては、留意、検討すべきであると考えます。

■ 2つの候補地（案）に共通する課題

① 自然環境の維持・保全

里山や農地を開発することで、自然環境がどの様に変化し、ダメージを受けるかを検討する必要があります。

【問題点・課題への対応】

- ⇒ 観音山周辺の里山や貯水機能等持つ農地の開発における環境への影響を検討
- ⇒ 開発後、周りの里山や農地を確保（調整区域として残すなど）

② 雨水・污水対策

里山や農地の開発にあたっては、治水の面や污水の処理等に関して対策が必要です。

【問題点・課題への対応】

- ⇒ 新川の拡張、雨水幹線の整備
- ⇒ 治水管理（貯水池）調整池の整備
- ⇒ 下水道の整備

③ 通学路の安全確保

小中学校が一ヶ所に集中し、児童・生徒が一斉に通学するため、通学路が児童らであふれるなどの問題が生じることが考えられ、通学時の安全確保が必要です。

【問題点・課題への対応】

- ⇒ 通学時の安全確保対策や通学路の見直し
- ⇒ 学校のイベント時における車両の集中に対する補助駐車場等の対策

④ 大谷台小学校との学校区の問題

大谷台小学校の垂坂地区の児童について、学校区をどのように考えるか、検討が必要になります。

【問題点・課題への対応】

- ⇒ 朝明中学校の将来における生徒数等の検討
- ⇒ 垂坂地区の児童の学校区に関する検討
- ⇒ 現在、大谷台小学校、山手中学へ通学している垂坂地区の児童・生徒も希望者については、大谷知興譲小中学校へ通学してもらったらどうか

■候補地案—1に関する課題

① 現小学校と観音山とのアクセス対策

現在の小学校敷地と観音山の間には、交通量の多い県道があり、県道横断の危険性や騒音等に留意し、安全性や快適な学習環境を確保する必要があります。

【問題点・課題への対応】

- ⇒ 安全確保のため、県道横断の歩道橋又は地下通路の整備
- ⇒ 学校敷内を交通量の多い道路が横断するイメージに近い場合、騒音等の対策を検討（例：庶音壁等）

② 観音寺の移転等

観音山の開発には、観音寺の移転が生じるものと考えられ、移転にあたっての問題等を解決する必要があります。

【問題点・課題への対応】

- ⇒ 観音寺の移転に関する関係者・関係団体との調整
- ⇒ 観音寺のお堂・石仏の移転（一ヶ所に集め、大矢知城跡の一角であった事も含め、歴史の勉強になる）

③ 学校敷地と里山との関係

学校敷地が里山に直接面している場合、学校敷地内に枝葉が入り込んでくるため、里山と学校敷地との境界部分について何らかの対策が必要です。

【問題点・課題への対応】

- ⇒ 学校敷地と里山との境界部分に道路を整備するなど



県道横断の安全性の確保



観音山開発に伴う観音寺の移転



敷地と里山との良好な関係づくり

4)「候補地(案)」への整備において検討したい事業、連携させたい活動

候補地(案)を提案するにあたり、地区のまちづくりとして合わせて検討したい事業や、連携させたい活動を以下に整理しました。候補地(案)における小学校及び中学校の整備を検討するにあたり、ぜひ参考にさせていただきたいと考えます。

① 里山や農地の環境を生かした学校づくりを

里山や農地の環境を生かして、緑の多い学校づくりと、周りの環境を活用した環境教育や体験学習などにも積極的に取り組むことで、特色ある学校づくりが可能であると考えます。

【取り組みのアイデア】

- ⇒ 緑が多い学校、自然に触れ合いやすい学校として特色を出す
 - ⇒ 木・花造りと、他校にない特色を考える(例:ソーラー発電…)
 - ⇒ 草刈など、里山の維持・管理に児童・生徒が参加する
-

② 小中一貫の学校づくりを

同一敷地に小学校と中学校を整備することにより、小中一貫の学校づくりができ、様々な工夫が可能になります。

【取り組みのアイデア】

- ⇒ 小中一貫で9年間をかけて中学校の内容までを修得するため、個人の能力に合わせた能力別学習を可能にできる(容易にする)
-

③ 地域と連携した学校づくりを

地域と学校との連携をよりいっそう高め、地域と一体となった学校づくりを進めたいと考えます。

【取り組みのアイデア】

- ⇒ 学校行事にボランティア活動、協力
 - ⇒ 地域との連携による体験的な学習活動
-

④ その他の提案等

【取り組みのアイデア】

- ⇒ 運動場のナイター設備等により、多目的活用が出来るようにしてはどうか
 - ⇒ 観音寺、墓地は移転に伴い公園として整備してはどうか
-

3. 『朝明川自然学習公園化プロジェクト』

朝明川や米洗川、用水・水路など、大矢知地区は素晴らしい水環境を有しています。しかし、その最も重要な軸となる朝明川は、豊かな自然環境を残しながらも、水辺には近づきにくく、河川沿いの堤防道路は竹林などが繁茂して安全に歩いたり、サイクリングしたりすることができない状況で、レクリエーションの場、環境学習の場としての活用や環境整備ができていません。また、川沿いへのゴミの不法投棄が後を絶たず、せっかくの素晴らしい環境を台無しにしています。

私たちは、この素晴らしい環境を将来に引き継ぎ、朝明川をもっと積極的に活用したまちづくりを進めていくために、この「朝明川自然学習公園化プロジェクト」に、地区として取り組みたいと考えています。

1) 私たちは、朝明川をこんな川にしたい！

活動目標：

『朝明川の美しい環境を守って、大人も子どももみんなが憩える、遊べる川にしたい！』

① だれもが憩いと散策のできる川にしよう

住民が水辺を気軽に歩き、心地よく休むことができる、老若男女だれもが憩い、散策できる川にしよう。

② 子どもたちが安全に遊び、学べる川にしよう

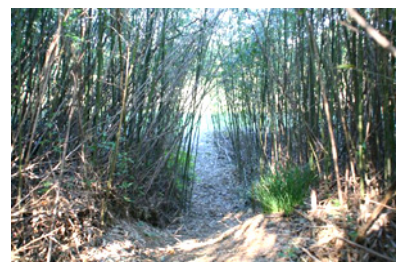
子どもたちが安全に川に入って遊べる、川の環境や生物を学べる川にしよう。

③ 市民の健康増進のために活用できる川にしよう

市民が健康づくりのために、サイクリングや軽スポーツをしたり、みんなが集まってイベントをしたりできる川にしよう。

④ 生物に優しい美しい環境を維持しよう

朝明川をはじめとする街中の美しい水環境を将来も維持し続け、野鳥や昆虫が集まる豊かな環境を守り、生物に優しい、美しい川にしよう。



美しい朝明川の環境を守り、みんなが安全に活用できる川に

川沿いの竹林の処理は急務

2) 私たちが取り組みたいこと

① みんなで朝明川を見直し、意識を高める

住民が朝明川の豊かな自然、素晴らしい環境を見直し、「みんなの朝明川」という意識を高めるための啓発活動を進めます。

【取り組みの内容】

- ⇒ 住民、自治会に活動の必要性や協力を呼びかける
 - ⇒ 地元自治会が中心となって、住民が集まって話し合う場を持ち、みんなの意見をまとめ、企画立案する
 - ⇒ 全体での清掃を実施する
 - ⇒ JR、近鉄線路の上も下も鯉のぼりをロープでつるす
-

② 憩える、歩ける、遊べる環境づくりを進める

散歩やジョギング、サイクリングをしたり、水辺でお弁当を食べたり、遊んだりできる川にするために、必要な環境整備や防犯対策を進めます。

【取り組みの内容】

- ⇒ 堤防道路の整備、そのための竹林の処理
 - ⇒ 散策路、小さな広場、日除け、ベンチ等の整備
 - ⇒ グランドゴルフ等スポーツのできる広場、空間の整備
 - ⇒ トイレ・手洗いの整備
 - ⇒ 川への進入路、駐車場の整備
 - ⇒ 防犯対策の実施（監視カメラの設置等）
-

③ 美しい環境を維持するための環境整備に取り組む

朝明川の美しい自然環境を維持するために、住民が川のことをもっと知り、自然環境のすばらしさを体験できるような環境整備や活動に取り組みます。

【取り組みの内容】

- ⇒ 自然環境、生物の生育環境を守り、高める環境整備
 - ⇒ 木、竹の整備と残置（木陰の設置）
 - ⇒ 自然観察会の開催
 - ⇒ 自然観察のための整備（木、魚、昆虫のネームプレート設置等）
 - ⇒ 不法投棄物の除去、監視カメラの設置
-

3) 当面の活動

目標を一步一步実現していくために、まず、次のことに取り組みましょう。

当面の活動①：積極的な広報活動で意識を高め、地元の盛り上がりをつくる

【取り組みアイデア】

- ⇒ 地区内の人々に朝明川に対する活動を告知し、賛同者を集める
 - ⇒ 公園化プロジェクトの公表、宣伝を自治会で行う
 - ⇒ 公園化のための意識を高め、ボランティアを増やす
 - ⇒ 住民からアイデアを募集する
-

当面の活動②：最低限の歩ける環境づくりを着実に進める

【取り組みアイデア】

- ⇒ 竹・木を切る（公園化をするにも、まずこれが最初）
 - ⇒ 竹林の処理や草刈りを少しずつでも着実にを行う
-

当面の活動③：朝明川を見直すきっかけをつくる

【取り組みアイデア】

- ⇒ 子どもから老人までが参加できるイベントを開催する
 - ⇒ 川の美しさと豊かな自然を知ってもらうための催しを現地で行う（自然観察会等）
 - ⇒ ごみ拾い、清掃活動、草刈りをイベントとして行う
-

当面の活動④：継続のための協働の条件づくりに取り組む

【取り組みアイデア】

- ⇒ 後の管理の問題をしっかりと地元と考えながら進める
 - ⇒ 流域懇談会等の場を通じて、朝明川河川管理計画への反映を働きかける
 - ⇒ 県の支援メニューである美化ボランティア活動助成事業及びフラワーオアシス推進事業の活用などを検討する
-

4. 『環境まちづくりプロジェクト』

私たちの地区には、産業廃棄物処分場跡地の問題や計画されている新清掃工場建設、ゴミの不法投棄の増加、排水対策など、環境保全に関する重要な課題が山積しています。

私たちは、まちづくりの体系に示したように、「環境まちづくり」にとりくむことが、地区のまちづくりにとって重要な柱の一つであると考えており、プロジェクトとしても取り上げるべきだと思っています。

ただし、産業廃棄物処分場跡地の処理と活用の問題や計画され、議論が進められている新清掃工場建設については、地区にもたらす影響が極めて大きいものですが、四日市市全体にとっても重要な課題であり、地区おける議論だけで進められる問題ではありません。

したがって、今回のまちづくり構想では、今後、地区として、これらの動きにしっかりと対応していくとともに、これをきっかけとしながら、環境まちづくりに取り組むことの重要性を位置づけるに止め、具体的なプロジェクトの内容については、時期をみて再検討するものとなりました。



川越産業廃棄物処分場跡地



北部清掃工場



北部清掃工場周辺の排水路

5. 『里山保全プロジェクト』

私たちの地区には、四日市市全体の都市構造からみても、たいへん貴重なまとまりある緑が残されています。平成15年2月に策定された「四日市広域 緑の基本計画」においても、「水と緑を守り育てる」施策として『市街地外縁部の丘陵地の保全（セブンヒルズ構想）』の一つ「垂坂丘陵地区」として位置づけられ、なかでも最も市街地と隣接している緑として重要な役割を果たすことが期待されています。

一方で、大矢知地区における里山や農地は、貯水機能・排水調整機能としての役割を果たしていますが、近年、着実に開発が進み、徐々に失われていっています。また、里山の管理も必ずしも行き届いておらず、住民の憩いの場としての活用もあまり進んでいない状況です。特に竹林による山林や赤道への侵食が著しく、多くの里山が荒れ放題の状態にあります。

私たちは、この貴重な里山と緑の環境を、次の世代に引き継ぎついでいくために、できることから行動を起こしていきたいと思っています。

1) 里山づくりの目標

■活動目標

『私たちは、里山と緑の環境を次の世代に引き継ぎたい！』

① 自分たちの手で里山と緑を守ろう

地区の里山を守るために、地権者や地区の住民に呼びかけ、地区住民が主体となって活動し合えるような組織づくりをめざしながら、保全型の里山づくりに取り組みます。

② 住民の憩いと子どもたちの環境教育の場を創造しよう

里山づくりに取り組むことにより、地区の緑に包まれた環境を維持し、住民の散策や憩いの場を創出するとともに、環境教育を実践する絶好の場と機会を提供していきます。

③ 里山を拠点に、地区のまちづくりを展開しよう

里山とその周辺は、久留倍遺跡、大矢知城跡をはじめ、貴重な遺跡や歴史資源の宝庫です。また、地区内に分散する多くの歴史・自然資源をネットワークする一つの拠点となるものであり、地区のまちづくりをこの活動から様々な形で展開していきます。

④ できることから一つ一つ着実に進めよう

対象とする里山は広大であり、すべてを保全することは容易ではありません。できることから着実に取り組み、保全の輪を広げていきます。

■対象範囲（目標とする範囲）

- ・長倉神社周辺～市道垂坂平津線～富田山城線～コメリ西側道路に囲まれた緑地
- ・観音山～市道垂坂平津線までの緑地（観音山については学校候補地となっているが、学校整備後に周辺に残された里山を残していきたい）

2) 具体的な活動の展開方向

目標を実現するために、次の活動に取り組みます。

当面の活動①：住民、地権者の理解と活動の母体づくり

現地調査や地権者の調査により、保全する里山の範囲（目標）を具体的に設定し、地権者と住民の理解を求めながら、里山保全活動の推進母体となる住民主体の組織づくりに取り組みます。

【取り組みの内容】

- ⇒ 地権者の調査と協力要請
 - ⇒ 保全をめざす里山の範囲（目標）の設定
 - ⇒ 住民へのアピールと賛同するキーパーソン、メンバーの発掘
 - ⇒ 里山の維持・管理を含めた、里山の保全を進めていく組織（里山保全会等）の設立
-

当面の活動②：散策道の整備

対象とする里山の範囲が広大であることから、まずは赤道を中心とした散策道の整備を先行して行い、住民が散策などの活用ができるようにするとともに、保全活動に取り組める環境づくりを行い、散策道を軸として徐々に活動区域の拡大めざします。

【取り組みの内容】

- ⇒ 赤道の確定（地番等、図面の作成）
 - ⇒ 整備する散策道の隣接地権者への呼びかけ（協力要請と境界確認等）
 - ⇒ 里山地内での見どころ（風景、ビューポイント、歴史・自然資源等）の洗い出し
 - ⇒ 散策道を整備した場合の不法投棄防止や防犯対策 等
-

当面の活動③：活動拠点の整備

長倉神社周辺を活動の拠点地区に位置づけ、駐車場等を含めた環境整備とともに、ここを拠点とした自然、歴史的資源等のネットワークづくりをめざします。

【取り組みの内容】

- ⇒ 長倉神社周辺の活動拠点としての環境づくり
 - ⇒ 未だ竹林の侵食が起きていない地区からの保全活動の推進
 - ⇒ 市民緑地制度等を活用した環境整備と駐車場の確保
 - ⇒ 大矢知砦跡としての整備、木の伐採などによる見晴らしの良い場所の確保
 - ⇒ 竹を活用した柵などによる城跡の整備
-

当面の活動④：住民が里山を見直し、活動に参加するきっかけづくり

住民が里山の現状を知り、その重要性を理解してもらえよう様々な方法で働きかけるとともに、活動に参加するきっかけづくりに取り組みます。

【取り組みの内容】

- ⇒ 一般公募（ボランティア）の実施、老人会等の地域団体への参加の呼びかけ
 - ⇒ 久留倍祭りなど、他の活動・催し等と関連させたPR活動の推進
 - ⇒ 庄作溜等と一体となった活用の検討
-

当面の活動⑤：多様な制度や事業の活用検討

上記の①～④の取り組みを実際に進めるために、市民緑地制度をはじめ、様々な制度や事業の活用、専門家や関係団体との連携・協力を図っていきます。

【取り組みの内容】

- ⇒ 活動の母体となる組織と学校・自治会等各種団体との連携、ネットワークづくり
 - ⇒ 市民緑地制度をはじめとする多様な制度、事業の活用検討
 - ⇒ 竹の侵食を防ぐための専門家のアドバイス
 - ⇒ 里山保全に取り組む地区やNPO等との連携、協力
-



長倉神社周辺の美しい里山



既存赤道等を活用した散策道の整備



市民緑地制度を活用した整備事例

6. 『歴史・文化の継承プロジェクト』

私たちの地区は、遺跡の宝庫であり、元三大師や久留倍遺跡などの歴史的に価値の高い文化財をはじめ、実に多くの歴史・文化資源が存在しています。また、大矢知手延べ麺や酒造りなど、全国でも高く評価をされている地場産業も根づいています。

しかし、これらの多くは、私たち地域の住民にさえその価値が理解されていなかったり、放っておくと失われてしまったりするものも少なくありません。また、資源は分散していて、それぞれの関係づけがなされておらず、さらにその素晴らしい資源を十分に活用できているとは言えない状況です。

私たちは、この貴重な資源が失われないように、その価値を再認識する必要があります。そして、資源を積極的に活用することで価値をよりいっそう高め、地域における暮らしや活動のなかに生かしながら継承していきたいと思えます。

1) 歴史・文化の継承の目標

■活動目標

『地域の歴史・文化を知ることからはじめ、私たちの暮らしや活動のなかで継承しよう！』

① 地域の歴史・文化資源の存在に気づき、その価値を共有しよう

歴史・文化資源は、地域の大切な資産であり、人やまちを育てる素材でもあります。

住民が地域の歴史・文化に親しみ、その価値を共有できるように、資源の掘り起こしや学びの機会づくりを含めて、まずは、その存在に気づいてもらえることをめざします。

② 資源を人々にわかりやすい物語でつないで、関心を高めよう

それぞれの資源のことやその背景を住民が学び、研究して深め、人々の興味を引く様々な物語で資源をつなぐことで、住民の「大切にしたい」を呼び戻し、地区内外の人々の関心を高める魅力づくりをめざします。

③ 歴史・文化資源に新たな価値を付与し、活用しよう

教育・学習資源、文化交流を含む観光資源、景観まちづくりのための資源などとして位置づけることで新たな価値を付与し、多様な活動と連携させて積極的に活用するなかで歴史・文化資源の継承をめざします。

2) 私たちが取り組みたいこと

目標を実現するために、次の活動に取り組みます。

① 資源の存在を明らかにする

地区内に点在する貴重な歴史・文化資源について、まずは、住民をはじめとする地区内外の人々にその存在を知らしめることができるよう取り組みます。また、さらに埋もれた資源を掘り起こし、再発見に努めます。

【取り組みのアイデア】

- ⇒ 案内板や看板の整備（早期整備対象例：大矢知城跡、古戦場跡、東海道など）
- ⇒ 資源マップや資源を紹介する冊子等の作成
- ⇒ まち歩きなどによる資源の掘り起こし、再発見等の活動の展開 等



放っておくと失われてしまいかねない貴重な資源を知らしめよう



みんなの力で伝統を受け継ごう

② 資源間の関係づけや背景等を物語として付加した魅力づくり

歴史・文化資源について地域で学習する機会を増やし、有志による研究などにより資源の歴史性や背景を深めながら、それぞれの資源を人々の関心の湧く「物語」で関係づけていくことでより魅力あるまちづくりの素材としての価値を高めていきます。

【取り組みのアイデア】

- ⇒ 地域の歴史・文化、地場産業に関する学習機会や研究機会の創出
- ⇒ 人々の関心を高め、資源間の関係性を強める「物語」等の作成
- ⇒ 「物語」を体感できる眺望ポイント等の設定、整備
- ⇒ 「物語」と関連させた遺跡や資源を巡るコースの設定や関係イベントの開催 等



学習会や地域の歴史研究などから、みんなの関心を高める物語化を進めます



物語化の先進事例
(東海道歴史文化回廊)

③ 多様な地域の活動と一体となった資源の活用とまちづくりの展開

元三大師や久留倍遺跡等の核となる資源において、拠点として機能の充実を図るとともに、歴史・文化資源やその物語性を素材にしながら、地区の様々な資源（自然・歴史・文化等）や活動（学習、交流活動等）をつないで多様なまちづくりを起し、地区全体における展開をめざします。

【取り組みのアイデア】

- ⇒ 核となる資源の拠点としての機能の充実、整備の促進
- ⇒ 小中学校や里山保全等のプロジェクトと連携したまちづくりの展開
- ⇒ 里山保全と連携した大矢知砦跡の整備や久留倍遺跡と一体となったまちづくり
- ⇒ 「久留倍遺跡を考える会」の活動の地区としての支援、久留倍まつりや壬申ウォークなどの活動・催し等との連携



核となる資源の拠点としての機能の充実、整備の促進

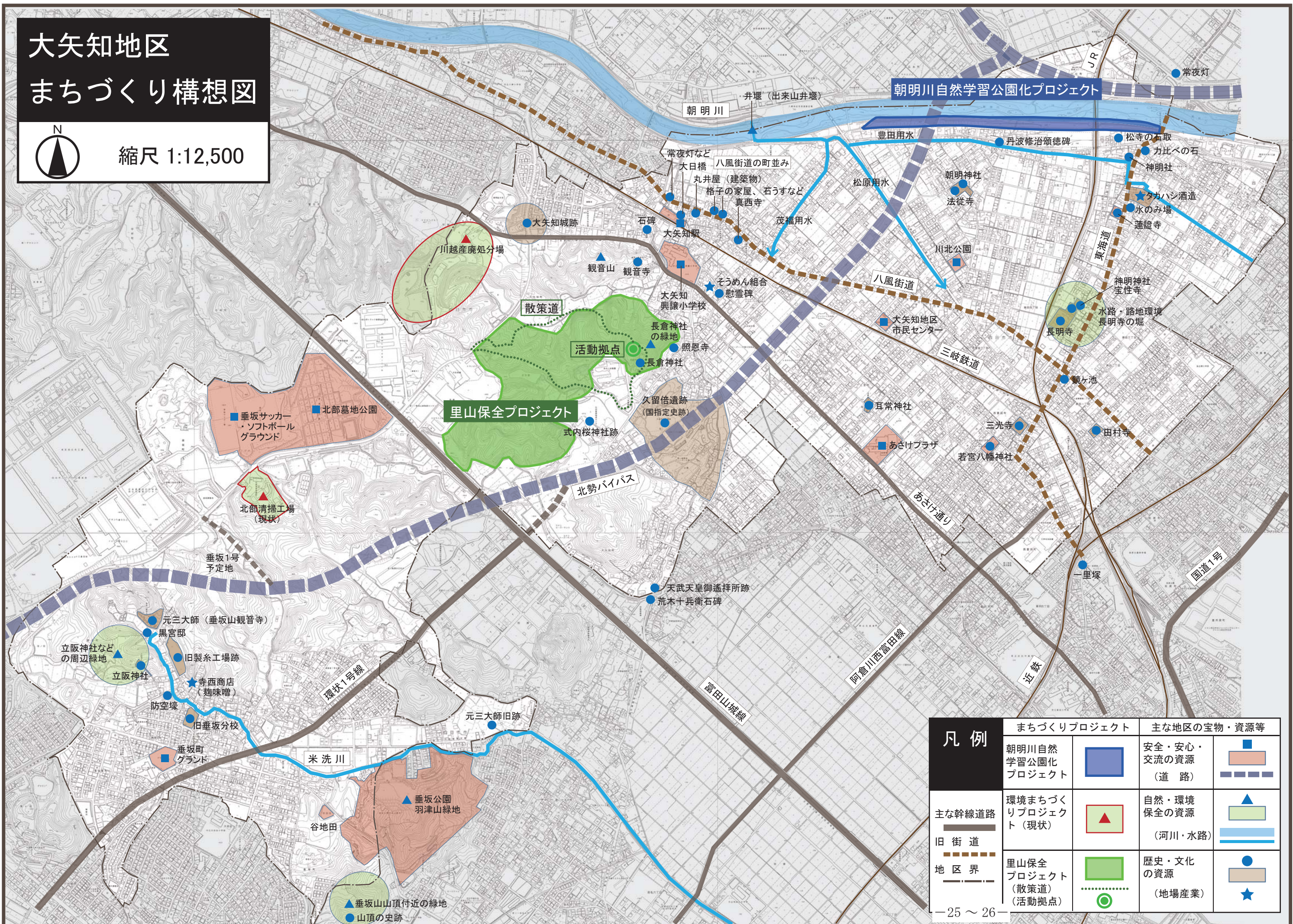


里山保全等と連携したまちづくり

大矢知地区 まちづくり構想図



縮尺 1:12,500



凡例		まちづくりプロジェクト	主な地区の宝物・資源等
朝明川自然学習公園化プロジェクト		安全・安心・交流の資源 (道路)	
環境まちづくりプロジェクト (現状)		自然・環境保全の資源 (河川・水路)	
里山保全プロジェクト (散策道) (活動拠点)		歴史・文化の資源 (地場産業)	
主な幹線道路			
旧街道			
地区界			

IV. 参考

1. まちづくりの資源の一覧

まちづくり構想の策定作業を通じて出し合い、またまち歩きで見つけ、確認してきたまちづくりの資産や課題を次頁以降の表と地図上に整理しました。

なお、表の「青い台紙に整理したものが主に宝物・資産」、「赤い台紙に整理したものが問題・課題」です。

【自然・環境保全に関する資源】

		抽出した資源・課題			意見の整理						
行ごり	大矢知・下之宮地内	垂坂地内	川北・松寺・蒔田・西富田・十志地内	主な課題							
里山 緑地 農地	<p>里山観察 観音山周辺など</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街地に近い貴重な緑地 将来も保全していきたい 市民緑地制度等の活用 	<p>長倉神社の緑地</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間として美しい 高台にあり景観はよい 一部木を切れば高台からの景観がすばらしくなる  <p>・将来的に維持が難しい</p>	<p>立阪神社などの 神社林・周辺緑地</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺緑地を保全し、住民の憩いの場とする →市民緑地の活用を検討 	<p>垂坂山山頂</p> <ul style="list-style-type: none"> 山頂付近をきれいに手入れし遊歩道等を整備することにより、地元住民が散歩など憩える場とする →市民緑地の活用を検討  <p>・ゴミの不法投棄あり ・古戦場跡地として保存して行くのか、今後検討</p>	<p>川北一・二丁目 蒔田四丁目の 土地利用</p> <ul style="list-style-type: none"> 今ある田を残していきたい ⇒残すのは大変 ⇒田は調整池としての機能を果たしている ・排水路の容量が少ない(雨水対策)  	<p>意見の整理</p> <p>主な課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 貴重な里山・緑地を次世代に引き継いでいきたい ■ 緑地を住民の憩いの場にしたい ■ 今ある農地を残していきたい ■ 貯水機能・排水調整機能を維持したい <p>活用・改善のアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 里山の保護・公園化／市民緑地制度等の活用 ・ 住民の散策路や憩いの場の整備 ・ 社寺周辺の緑地の保全と見晴らしの確保など ・ 谷地田を埋めて公園などに ・ 住宅地区の緑化の推進 ・ 幼稚園・小学校等の遠足地、授業の場所に活用 ・ 学校近くの田、畑を教材に 					
	水環境	<p>米洗川</p> <ul style="list-style-type: none"> 水質を改善し、ホタルが住むきれいな川として残していきたい <p>・水量が少ない ・水質、汚泥等の悪化が著しい ・ゴミの不法投棄が多い ・大雨等により増水し場合、隣接する家屋への被害が予測される ・水害対策として河川整備を進めるのか(ホタルが住まない川)   </p>	<p>谷田池(垂坂公園内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 以前は、農業用ため池として利用されていたが、現在は田畑がなくなり不用である ・ため池を埋め立て、運動広場等として有効活用したらどうか  <p>・ごみの不法投棄場所となっている ・池の周囲に柵がないため、危険である</p>	<p>朝明川(右岸)</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園化 ・サイクリングコースの整備 ・護岸整備は終わっている(安全は確保されている)  	<p>井堰</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造り酒屋が沢山あった美しい水  <p>・自然が残っている</p>	<p>長明寺の堀</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四日市市で唯一お城の堀が残っている ・水路等の空間が面白い 	<p>松原用水 茂福用水</p> <p>・自然が残っている</p>  			<p>水路・路地空間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常に魅力的な水路を取り巻く路地等の環境が存在(旧東海道・蒔田周辺) 	
環境保全	<p>川越産廃処分場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広大な面積 ・跡地利用(活用が限定される) 例一公園や東芝の駐車場  	<p>北部清掃工場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新工場建設については、公共施設等(スポーツ施設、小中学校等)の建設を含め、行政と地元住民で十分な協議を進めていく必要がある  <p>・大きなテーマとして「環境」</p>	<p>北部清掃工場 関係排水の排水路及び道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水の水質測定の継続及び、測定結果の公表 	<p>・川底の浚渫 ・朝明川の流れの変化 ・監視カメラ(不法投棄対策)</p>	<p>朝明川(左岸)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの不法投棄 ・交通規制(対策) 	<p>水路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水対策が必要(蒔田) 	<p>主な課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 大きなまちづくりのテーマとして「環境」を位置づける ■ ゴミの不法投棄対策 ■ 情報公開の徹底 ■ 新清掃工場建設に伴う公共施設等の整備や活用が限定される産廃処分場跡地利用等をまちづくりに生かしたい <p>活用や改善のアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不法投棄等に対する監視体制の強化 ・ 清掃工場に関する情報公開の徹底や車両の増加に対する交通対策等 ・ 新清掃工場建設に伴い温排水の利用の健康増進施設、スポーツ施設、小中学校、子どもと高齢者のふれあいの場等の整備を ・ 産廃処分場の公園や駐車場としての活用検討 				

【安全・安心、交流の資源】

カテゴリー	抽出した資源や問題点						意見の整理	
	大矢知・下之宮地内		垂坂地内		川北・松寺・蒔田・西富田・十志地内		意見の整理	
							主な課題	
交通対策 防犯対策	<p>あさけ通り (危険箇所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川と併走している部分は暗渠化によって拡幅できるのでは？ ・歩道が狭い ・危険な通学路 ・電柱が歩行者の支障  	<p>郵便局周りの通学路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路幅が狭く車の対抗が難しい ・側溝の蓋がない ・通学路となっており、時間帯は車の進入禁止となっている  	<p>垂坂公園隣接道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既設道路の幅員が狭いため安全確保のためにも、公園整備の際に公園側に遊歩道(歩行者自転車専用道)を整備してほしい。 ・市が計画している公園整備について、公園に隣接する民家に対してプライバシー等の対策が必要である  	<p>北勢バイパス</p>  <p>垂坂1号線予定地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・垂坂1号線の周辺農地に与える影響(農作業、農産物の生育)が大きい ・北勢バイパス東側から環状1号線までのアクセスは、現道は狭隘な農道であるため、計画、整備が必要 	<p>東海道とJRの踏切</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遮断時間が長い ・踏切の幅が狭い(歩行者、自転車が危険)  	<p>川北一、二丁目蒔田四丁目の土地利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路が真直ぐ通っていない(幅員が異なる) ・今ある田を残したい ⇒残すのは大変 ⇒田は調整池としての機能を果たしている ・排水路の容量が少ない(雨水対策)   	<p>阿倉川西富田線の交差点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通量が増えている  <p>八幡踏切</p> <ul style="list-style-type: none"> ・踏切の幅が狭い(対向ができない) ・ポイントがあり拡幅が困難 	<p>主な課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 通学路の安全対策 ■ 非常に多い危険箇所、危険な道路への対策 ■ 無秩序なミニ開発による道路未整備地区の対策 ■ プライバシー保護や防犯 ■ 対策総合医療施設が近くにない ■ 道路・排水などの都市基盤未整備地区の宅地化対策 ■ 排水対策、水害対策 ■ 西富田山手線の延長 <p>活用・改善のアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーサンシから北方向への道路整備(環1の延長) ・道路の時間別一方通行の提案 ・八風街道への歩道の設置 ・電柱の移設などによる幅員の確保(東海道などでは、スピードの出すぎで危険との指摘もある) ・垂坂公園の隣接道路は公園側に専用側道設けて、通学路や遊歩道にノ事故防止看板や防犯カメラの設置ノプライバシー対策ノ垂坂山頂からのネットワーク道路としても検討 ・垂坂1号線予定地は、早期に検討要 ・川北・松寺地区児童の通学路の変更 ・生活道路に街路灯の整備
交流 ふれあい	<p>あさけプラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な機能を有した施設(図書館、音楽室、風呂等) ・多世代の人が利用できる交流拠点となっている ・各施設の利用率が高い   <p>・老朽化(耐震工事済)</p>	<p>大矢知興譲小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童数に対して施設が狭く、パンク状態  	<p>大矢知駅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のまちづくりに生かしたい ・地区のアピール ・おもむきのある倉庫が近くに有る ・場所がわかる標識を設置  	<p>垂坂町グランド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元のイベント等、ふれあい交流の場として活用 ・災害等非常時に活用できる最重要施設 ・管理は地元が行っている   <p>北部墓地公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合墓地として重要 	<p>垂坂サッカー・ソフトボールグラウンド他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設として重要 ・健康・交流の場  	<p>松原用水川北公園</p> 	<p>主な課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 狭すぎる小学校や中学校の建設などの学校施設の充実や適正配置 ■ 高齢者のひとり暮らし対策 ■ 多世代の交流促進 ■ 外国人との共生 ■ 地域の交流施設の継続的な維持・管理ノあさけプラザの老朽化対策 <p>活用・改善のアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の建設、小学校の移転・充実、学区の見直し ・高齢者のひとり暮らし安心システムの構築 ・子どもと高齢者のふれあいの場を作る ・見守り隊、地域ボランティア ・フラワーオアシス ・増加する外国人との交流施設や組織の設立 ・グラウンドの交通整備や総合施設への改善ノ管理者としての近隣住民の雇用 ・交流ふれあいが気軽にできるモデル墓地の整備 	



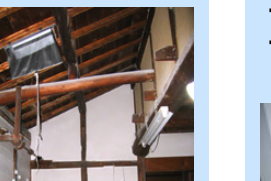

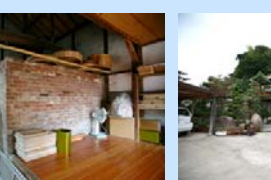

地区	抽出した資源や問題点				意見の整理
大矢知・下之宮地内	<p style="text-align: center;">久留倍遺跡等周辺</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>久留倍遺跡 (国指定史跡)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来、遺跡公園として整備 ・地域としてまちづくりにどのように生かしていくのか ・地域でイベントを継続していくか(ソフト・)   <p>式内桜神社跡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石碑あり  </div> <div style="width: 48%;"> <p>長倉神社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空間として美しい ・高台にあり景観はよい ・城跡という説もある ・一部木を切れば高台からの景観がすばらしくなる   <ul style="list-style-type: none"> ・神社の修復費用がない ・将来的に維持が難しい <p>照恩寺</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桑名城から持ってきた寺門／歴史的価値あり ・郷倉／江戸時代からの歴史的建造物、現在も使用されている  </div> </div>	<p style="text-align: center;">観音山周辺</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>大矢知幼稚園付近 石碑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺跡がある  <p>大矢知城跡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大城溜あり ・大矢知の名前の由来 石碑必要  <p>慰霊碑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次大戦時の遺物としては貴重な価値あり ・砲弾形の慰霊塔  </div> <div style="width: 48%;"> <p>観音寺</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高台にあり雑木林を一部切れば見晴らしのよりビューポイント ・里山の一部として保全 ・素麺神社   <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場から道路を渡るのが危険 ・見通しが悪い(横断危険) </div> </div>	<p style="text-align: center;">八風街道周辺</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>八風街道町並み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・格子のある古い家屋 ・丸井屋(和菓子屋) ・数件の古い家屋あり   <ul style="list-style-type: none"> ・石うす  <ul style="list-style-type: none"> ・店舗の閉鎖、空地目立つ ・まち並みが連続してない  </div> <div style="width: 48%;"> <p>常夜灯など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的建造物   <p>真西寺</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葵の御紋あり／お師範  <p>大日橋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古い石橋(大矢知駅前)  </div> </div>	<p style="text-align: center;">下之宮周辺</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>耳常神社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・云われ⇒朝廷からの指示、通達を受けていた ・久留倍遺跡との関係が深い ・地区として大切に維持管理がされている ・地区として存在意識が高い   </div> <div style="width: 48%;"> <p style="text-align: center;">その他</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>荒木十兵衛石碑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝明川から羽津用水を引く工事を行った人 ・保存状態良好  </div> <div style="width: 48%;"> <p>天武天皇御遙拝所跡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡として保存 ・久留倍遺跡と関係あり  </div> </div> </div> </div>	<p style="text-align: center;">ポイント・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 久留倍遺跡を地域としてまちづくりにどのように生かしていくか ■ 社寺やその周辺環境の維持や景観対策 ■ 地域の祭り、伝統芸能等の保存・継承 <p style="text-align: center;">活用・改善のアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 久留倍遺跡 — 遺跡公園としての整備／地域でイベント(ソフト事業)を継続していく架橋などの景観対策の検討 ● 長倉神社 — 高台からの景観対策 ● 観音山の雑木林を一部切れば見晴らしの良いビューポイントになる ● 大矢知城跡の存在をアピールする(看板等) ● 獅子舞や石取祭の保存
	垂坂地内	<p style="text-align: center;">抽出した資源や問題点</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 24%;"> <p style="text-align: center;">元三大師周辺</p> <p>元三大師 (垂坂山観音寺)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の重要文化財である元三大師像をはじめ多くの文化財がある   <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢西国三十三ヶ所のひとつ(第26番)であり、三十三観世音菩薩が安置してある   <ul style="list-style-type: none"> ・大矢知(垂坂町)地区の最重要資産である ・鬼は外は言わない、福は内のみ ・建物(本殿)が新しく、あまり風情が感じられない ・アクセス道路が狭い／駐車場が狭い ・公共交通の便があまり良くない </div> <div style="width: 24%;"> <p style="text-align: center;">元三大師隣接地域</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>立阪神社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要な地元の神社である ・周辺緑地を保全し、住民の憩いの場とする →市民緑地の活用を検討   <ul style="list-style-type: none"> ・アクセス道路が狭い ・獅子舞の保存 ・のぼり旗を建てる人が少ない </div> <div style="width: 48%;"> <p>旧垂坂分校跡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内では珍しく高台にある広場で景色、雰囲気がいよい ・三重郡、四日市市の形成と学校の歴史を残す重要な史跡である  <ul style="list-style-type: none"> ・保存管理手法の検討が課題 <p>防空壕</p>  </div> </div> </div> <div style="width: 24%;"> <p style="text-align: center;">垂坂公園周辺</p> <p>元三大師旧跡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観音寺の発祥場所として保存していく必要がある ・現地は草木に覆われており、管理及び保存方法について検討していく必要がある   <ul style="list-style-type: none"> ● 元三大師を核にして他の歴史文化資産建立地を巡る「見学街道」等を設置しては? ● 旧製糸工場跡 — 垂坂山観音寺の参拝者用駐車場として活用／道路拡幅用地として活用／町内関連歴史資料館を建設 ● 立阪神社 — 周りの樹木を里山として残し、住民の憩いの場に ● 旧垂坂分校 — 児童公園や里山等の指定、公的管理が必要 ● 垂坂山山頂 — 散策など安全・安心な公園に／幼稚園、小中学校の遠足地、授業の場所に ● 獅子舞の保存 </div> </div>			

【歴史文化資源—2】

地区	抽出した資源や問題点				意見の整理
川北 ・松寺 ・蒔田 ・西富田 ・十志地内	抽出した資源や問題点				意見の整理
	<p style="text-align: center;">川北周辺</p> <div data-bbox="181 233 433 346"> <p>法従寺</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥座敷 ・貴重な文化財    </div> <div data-bbox="454 233 706 346"> <p>朝明神社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カ比への石(40貫)があるが表面だけがみえている   </div> <div data-bbox="454 730 706 869"> <p>丹波修治頌徳碑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堤防を造った(治水対策)  </div> <div data-bbox="181 905 433 1018"> <p>常夜灯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残しておくべき  </div>	<p style="text-align: center;">松寺周辺</p> <div data-bbox="756 233 1009 346"> <p>松寺の石取</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な文化財、残しておくべき(維持していくのが大変)   </div> <div data-bbox="1029 233 1282 346"> <p>神明社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事な文化財 ・地域の交流の場  <p>・維持管理が大変(費用面)</p>  </div> <div data-bbox="1029 730 1282 869"> <p>蓮證寺</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の交流の場  </div> <div data-bbox="756 905 1009 1018"> <p>水のみ場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立場(馬を休ませる場)  </div> <div data-bbox="1029 905 1282 1018"> <p>松寺第三自治会長宅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カ比への石(27貫)  </div>	<p style="text-align: center;">蒔田周辺</p> <div data-bbox="1338 233 1590 346"> <p>長明寺</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堀が残っている(四日市で唯一) ・城跡、水路等の空間が面白い   </div> <div data-bbox="1338 730 1590 869"> <p>鏡ヶ池</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消滅した外堀  </div> <div data-bbox="1338 905 1590 1018"> <p>田村寺</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸後期、比較的新しい ・昔からの古い行事が盛ん  </div>		

【関連事項】
東海道

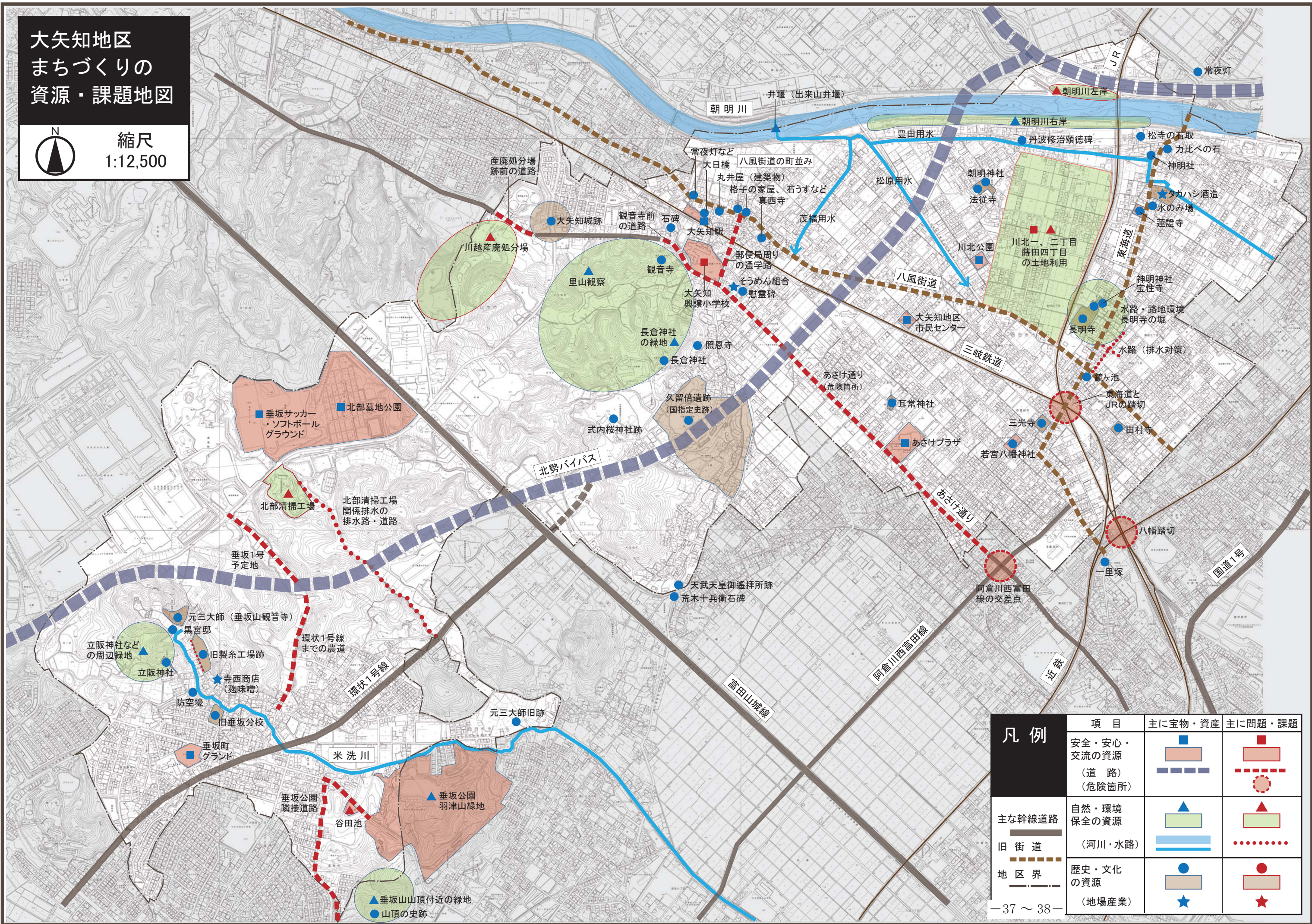
【歴史文化資源—地場産業】

地区	抽出した資源や問題点			意見の整理
	抽出した資源や問題点			意見の整理
	<p style="text-align: center;">タカハシ酒造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な造り酒屋 ・文化的な価値  	<p style="text-align: center;">大矢知手延べ麺</p>  	<p style="text-align: center;">寺西商店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業100年を超える老舗 ・古くからの製法で米麴を製造するのは珍しく、貴重価値あり ・麴室はレンガ造りであり、歴史を感じる   	<p style="text-align: center;">意見の整理</p> <p style="text-align: center;">ポイント・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地場産業を生かしたまちづくりを ■ 地域の伝統産業や魅力的な空間を支えてきた水や地域環境の保全 <p style="text-align: center;">活用・改善のアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・

大矢知地区 まちづくりの 資源・課題地図



縮尺
1:12,500



凡例	項目	主に宝物・資産	主に問題・課題
	安全・安心・交流の資源 (道路) (危険箇所)		
主な幹線道路	自然・環境 保全の資源 (河川・水路)		
	旧街道		
地区界	歴史・文化 の資源 (地場産業)		

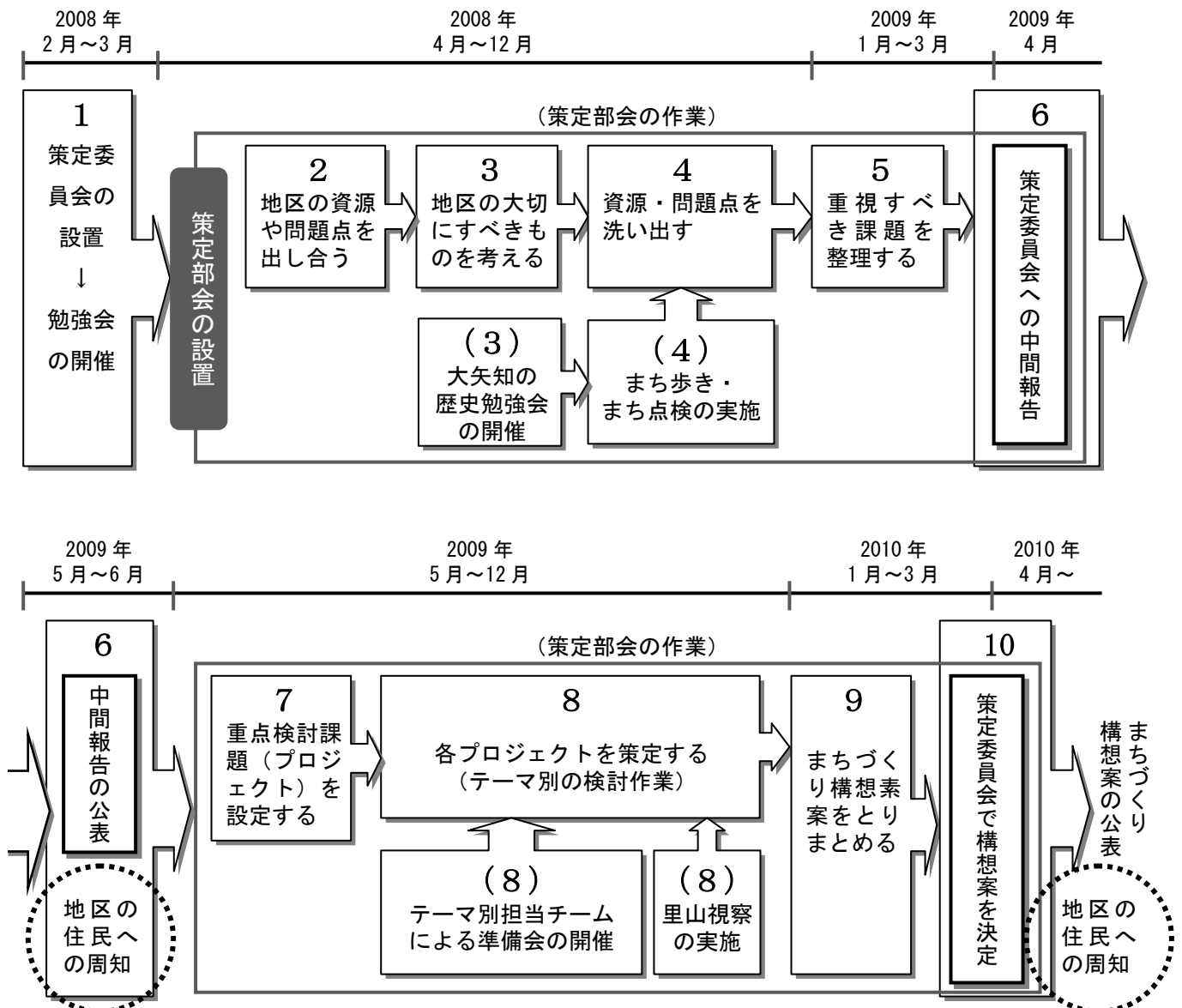
2. まちづくり構想の策定体制と経過

1) まちづくり構想の策定体制

大矢知地区の将来像を住民みんなで考え、将来像実現のための方針を住民みんなで推進していくために、まちづくり構想提案、調査研究、情報発信を行うものとして、「大矢知地区まちづくり構想策定委員会」が設置されました。そして、この委員会の下部組織である「まちづくり構想策定部会」が、まちづくり構想の案をつくるために、みんなで自由に議論し、一緒に作業するための場としてつくられました。

2) まちづくり構想の策定の流れ

まちづくり構想の策定にあたっては、まちづくり構想策定部会における策定作業を中心に、次のような流れで取り組んできました。

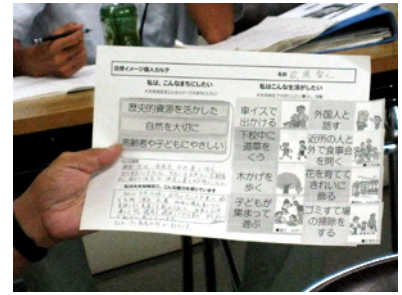


【まちづくり構想策定の経緯】

日 程	活 動	主な内容
2008年 2月19日	策定委員会（第1回）	「まちづくり構想」勉強会
3月25日	〃（第2回）	「まちづくり構想」勉強会
2008年 4月25日	策定部会（第1回）	部会長の選出とまちづくり構想策定の進め方
5月27日	〃（第2回）	部会員の想いマップ作成（資源・問題点抽出）
6月24日	〃（第3回）	〃（〃）
7月22日	〃（第4回）	目標イメージを語り合う
8月26日	〃（第5回）	「大矢知の歴史」勉強会
9月25日	〃（第6回）	「大矢知の歴史」勉強会、「まち歩き」の方法を検討
10月07日	まち歩き準備会	大矢知地内まち歩きのコース検討
10月12日	まち歩き・まち点検1	まち歩き・まち点検の開催（大矢知・下之宮地内）
10月21日	まち歩き準備会	垂坂地内まちあるきのコース検討
10月25日	まち歩き・まち点検2	まち歩き・まち点検の開催（垂坂地内）
10月28日	策定部会（第7回）	大矢知地内の資源・課題地図の作成
11月18日	まち歩き準備会	川北・松寺等地内まち歩きコース検討
11月22日	まち歩き・まち点検3	まち歩き・まち点検の開催（川北・松寺等地内）
11月25日	策定部会（第8回）	垂坂地内の資源・課題地図の作成
12月25日	〃（第9回）	川北・松寺等地内の資源・課題地図の作成
2009年 1月27日	〃（第10回）	重要な課題の選択
2月24日	〃（第11回）	まちづくり構想（中間報告）のまとめ
3月13日	〃（第12回）	まちづくり構想（中間報告：連合自治会） 連合自治会に中間報告
2009年 4月28日	策定委員会（第3回）	中間報告及び配布、意見収集の方法について
	策定部会（第13回）	今後の策定方針について確認
5月～6月	地区住民に回覧	中間報告概要版を地区住民に回覧
5月24日	地区住民に周知	市民体育祭等で取り組みを紹介
5月26日	策定部会（第14回）	重点検討課題の選定、テーマごとの担当チームの分担
6月16日	担当チーム準備会	北勢バイパスチーム、朝明川チームの準備会
6月23日	策定部会（第15回）	北勢バイパス高架下の活用、朝明川について検討
7月21日	担当チーム準備会	朝明川担当チームの準備会
7月28日	策定部会（第16回）	朝明川公園化のイメージづくりについて検討
8月18日	担当チーム準備会	朝明川、小・中学校担当チームの準備会
8月25日	策定部会（第17回）	小学校、中学校の整備方向について検討
9月15日	担当チーム準備会	小・中学校、里山チームの準備会
9月29日	策定部会（第18回）	里山の保全と公園化について検討
10月20日	担当チーム準備会	里山担当チームの準備会
10月27日	策定部会（第19回）	里山の保全と公園化、交流とふれあいの場について検討
11月08日	里山視察	里山先進地及び現地視察の実施
11月17日	担当チーム準備会	里山、歴史文化担当チームの準備会
11月24日	策定部会（第20回）	里山保全、歴史文化と地場産業の継承について検討
12月15日	担当チーム準備会	歴史文化担当チームの準備会
12月22日	策定部会（第21回）	交流とふれあいの場づくりについて検討
2010年 1月19日	合同準備会	最終報告素案のとりまとめ方法について検討
1月26日	策定部会（第22回）	まちづくり構想（素案）のとりまとめについて検討
2月23日	〃（第23回）	まちづくり構想（素案）のとりまとめについて検討
3月16日	〃（第24回）	まちづくり構想（素案）の完成
3月23日	策定委員会	まちづくり構想（素案）の報告

3) まちづくり構想策定部会の活動の様子

●月一回の定例全体会を中心に、準備会や視察等を含めて2年間に渡って行い、議論してきました。



●区内全域をまち歩きして資源や課題を発掘し、里山等のテーマに関して視察等を行いました。



●発掘し、出し合った資源、課題を地図上に整理して、資源マップや構想図を作成しました。



●「大矢知の歴史」勉強会や文献・資料による研究などを行いながら、構想を策定しました。

